

ELECOM

Windows XP用 高容量HDD専用ドライバ 利用ガイド

Windows XP (32bit) 環境では、本来2TB以上の容量を持つハードディスクドライブを認識することができず、使用できません。本ドライバをインストールすることで、Windows XP (32bit) 環境においても、2TB以上の容量を持つハードディスクドライブを使用できるようになります。必ずこの利用ガイドの説明に従ってご使用ください。



本ドライバはサポート対象の弊社製品以外では、ご使用になれません。
本ドライバを使用したことによるデータの破損・消失について、弊社は一切の責任を負いかねます。

導入の流れ

STEP1 ドライバをインストールする前に

→P2

- ① HDD にすでにデータが保存されている場合は、必要なデータをバックアップします。
- ② ダウンロードしたファイルを Windows XP パソコンにコピーします。
- ③ 対象の HDD を Windows XP パソコンに接続します。



STEP2 ドライバをインストールする

→P3

- ① 本ドライバをインストールし、パソコンを再起動します。



STEP3 HDDが認識されたことを確認する

→P4

- ① 2TBを超えるHDDがWindows XP環境で認識されていることを確認します。



STEP4 再フォーマットでHDDを1ドライブ(1ボリューム)にする

→P6

- ① 「ELECOMハードディスクフォーマッタ」をインストールします。
- ② フォーマットにより、GPT形式の領域を削除します。
- ③ 再フォーマットして、HDD全体をひとつのドライブ(ボリューム)にします。

STEP1

ドライバをインストールする前に

- 1 ご使用になるHDDにデータが保存されている場合は、必ずすべてのデータをバックアップしてください。



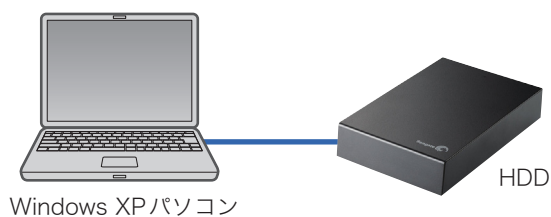
HDDをご使用になっていた環境によっては、HDDを再フォーマットする必要があります。また、導入ミスによるデータ消失を防ぐためにもデータはバックアップしておいてください。

- 2 Windows XP環境のパソコンに、ダウンロードした圧縮ファイル「XP_HDD_vX.X」をコピーし、ファイルを解凍しておきます。



- ダウンロードの時期により、フォルダ名のバージョンが異なります。
- デスクトップなど任意の場所にコピーし、解凍しておきます。
- 解凍後にWindows XPパソコンにコピーする場合は、必ずフォルダ内のファイルすべてをコピーしてください。

- 3 対象となるHDDをWindows XPパソコンに接続します。



- パソコンの電源は切った状態で接続します。
- 接続方法の詳細は、HDDに付属の説明書をお読みください。

STEP2

ドライバをインストールする



ドライバをインストールする前にHDDを接続しておいてください。対象となるHDDが接続されていないと、ドライバをインストールできません。

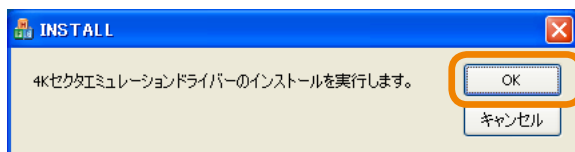
1 HDDを接続したWindows XPパソコンを起動します。

2 「XP_HDD_vX.X」 → 「WindowsXP用_高容量HDD専用ドライバ」の順にフォルダを開き、「INSTALL」アイコンをダブルクリックします。

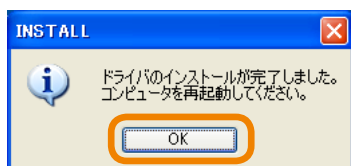


• ご使用の環境によっては「INSTALL.exe」と表示される場合があります。

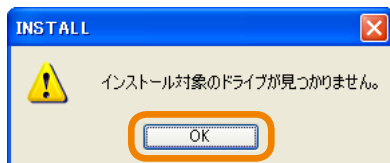
3 [OK]をクリックします。



4 [OK]をクリックします。



• 対象となるHDDが接続されていないと、以下の画面が表示されます。[OK]をクリックし、パソコンの電源を切ります。そのあとHDDを接続し、手順 **1** からインストール作業をやり直します。



5 パソコンを再起動します。

STEP3

HDDが認識されたことを確認する

Windows XPパソコンで対象となる(容量2TBを超える)HDDが認識されていることを確認します。



未使用のHDDまたはWindows Vista以降のOSで2TB以上のドライブとして既に使用していた場合は、本ドライバにより認識されるようになりますが、通常はそのままでは使用できません。STEP3でHDDが認識できていることを確認した後、STEP4で再フォーマットしてください。

- 1 [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[管理ツール]アイコンをクリックします。

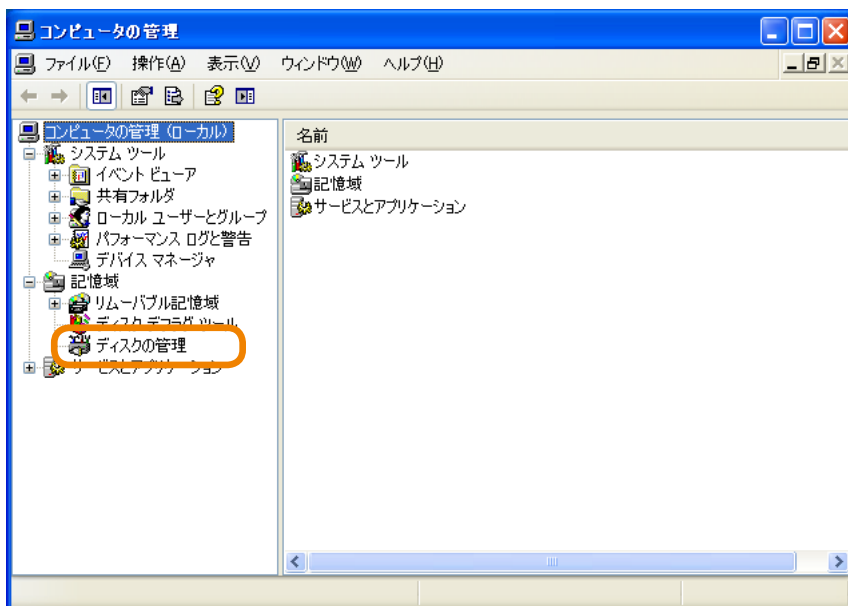


- コントロールパネルがクラシック表示の場合は、一覧から[管理ツール]をダブルクリックします。

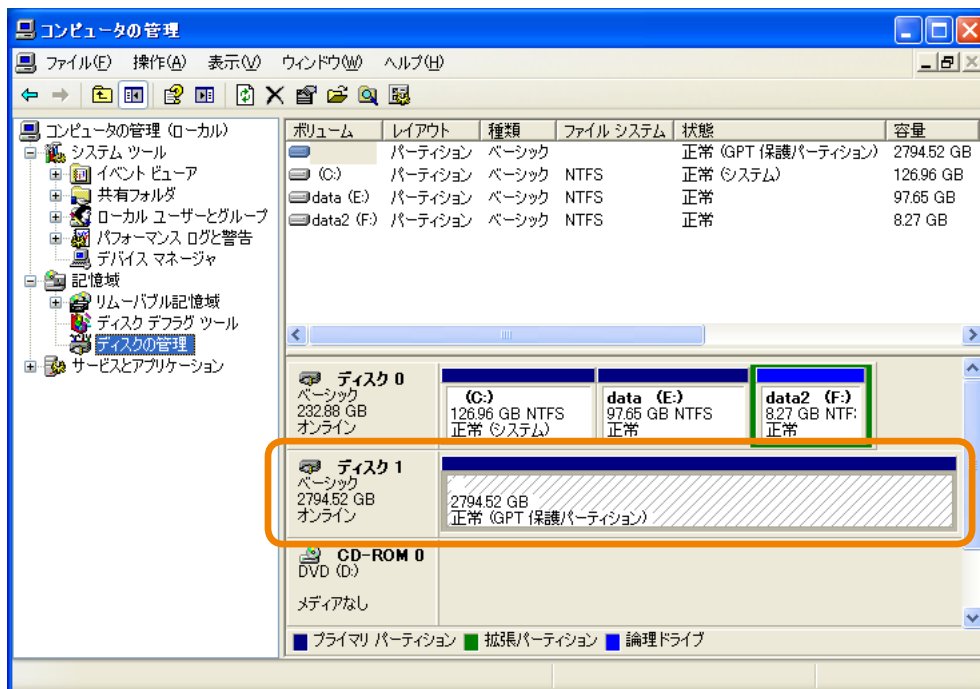
- 2 [コンピュータの管理]をダブルクリックします。



- 3 画面左のツリーから[ディスクの管理]をクリックします。



4 対象となるHDDが「ディスクx」として認識されていることを確認します。



- 対象となるHDDは、容量が2TB (約2000GB)以上のサイズで表示されています。

5 表示されている状態によって、このあとの手順が異なります。

■ドライブ名が表示されている場合

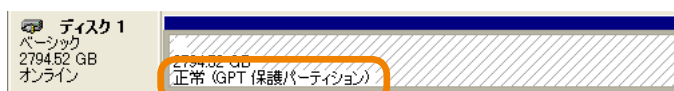


正常にHDDが認識され、ドライブとしても使用できます。

このあとは…

- ① [コンピュータの管理]画面とコントロールパネルを閉じます。
- ② マイコンピュータなどを開き、HDDとデータの読み書きができることを確認します。
- ③ 読み書きできることが確認できれば作業は終了です。
※この場合、再フォーマット等の作業は不要です。すぐにご使用になれます。

■「正常(GPT保護パーティション)」と表示された場合



「ELECOMハードディスクフォーマッタ」を使って、ドライブ (ボリューム) として認識できるようにする必要があります。

このあとは…

- ① [コンピュータの管理]画面とコントロールパネルを閉じます。
- ② 次のSTEP4へ進みます。

STEP4 再フォーマットでHDDを1ドライブにする

STEP3の作業で、接続したHDDがGPT形式だった場合は、GPT形式の領域を削除して、再フォーマットする必要があります。ここでは「ELECOMハードディスクフォーマッタ」を使って、これらの作業をする方法を説明しています。



誤って他のドライブ (ボリューム) をフォーマットしないために、外付けHDDが他にもある場合は、外しておくことをお勧めします。

STEP4-1 ELECOMハードディスクフォーマッタをインストールする

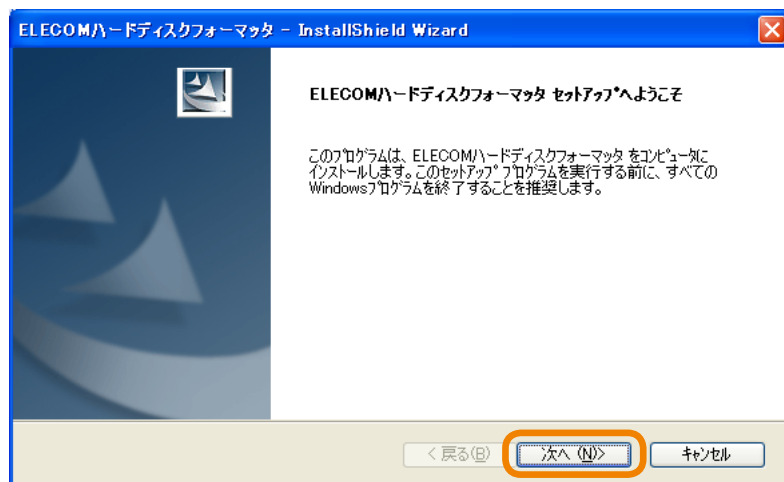
- 1 「WindowsXP用_高容量HDD専用ドライバ」フォルダにある[HDDformatSetup]をダブルクリックします。



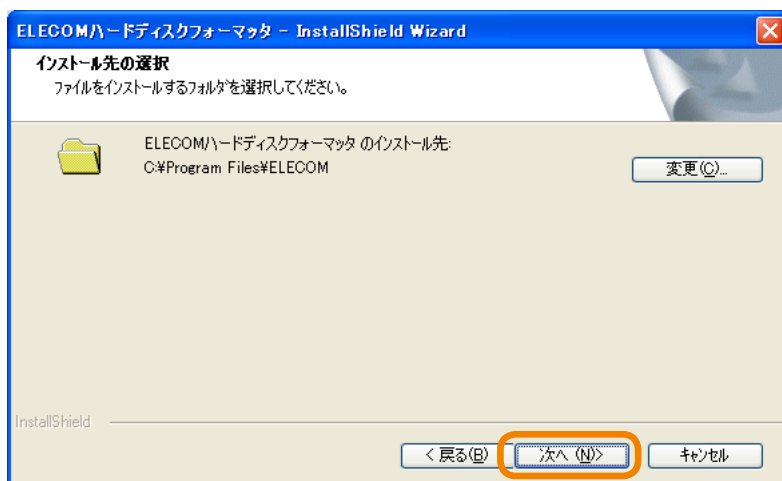
HDDformatSetup

- ご使用の環境によっては「HDDformatSetup.exe」と表示される場合があります。

- 2 [次へ]をクリックします。

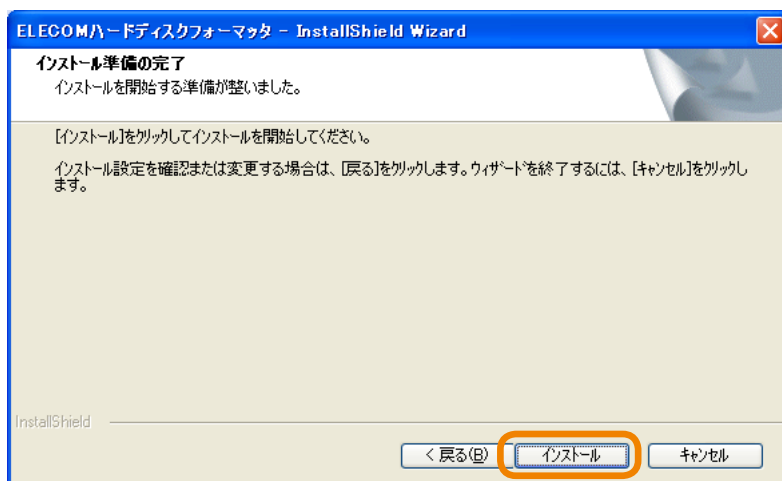


3 [次へ]をクリックします。



- インストール場所を変更した場合は、[変更]をクリックして場所を指定します。

4 [インストール]をクリックします。



5 [完了]をクリックします。



STEP4-2 フォーマットする(GPT形式の削除)



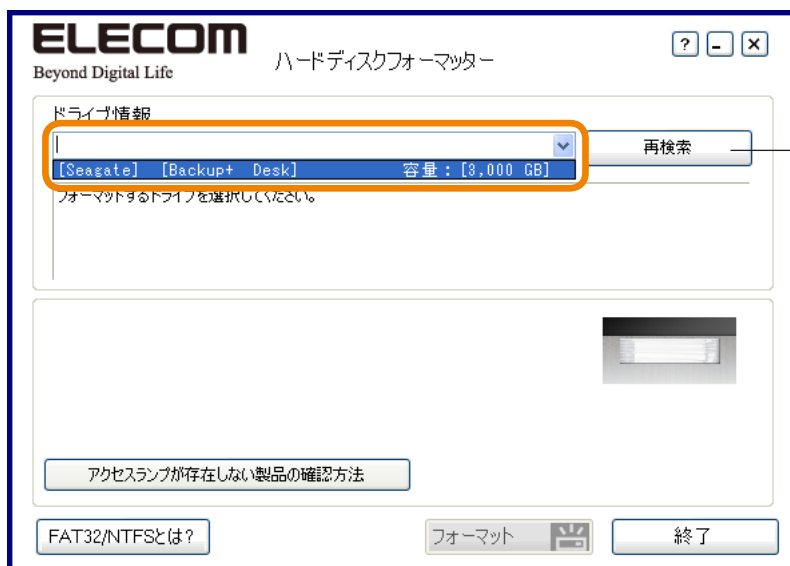
HDDにフォーマットを実行すると、HDD内のすべてのデータが失われます。HDD上に必要なデータがある場合は、必ずあらかじめデータをバックアップしてください。

1 HDDの電源が入っていることを確認します。

2 デスクトップにある[ELECOMハードディスクフォーマッタ]アイコンをダブルクリックします。



3 [ドライブ情報]の▼をクリックし、リストから対象となるHDDを選びます。



対象のHDDが見つからない場合にクリックします

- ご使用のHDDによっては、ランプが点滅しない場合があります。



リストに複数のHDDが表示された場合は、対象となるHDDを間違えないようにしてください。間違えてフォーマットすると、HDD内のすべてのデータが失われます。

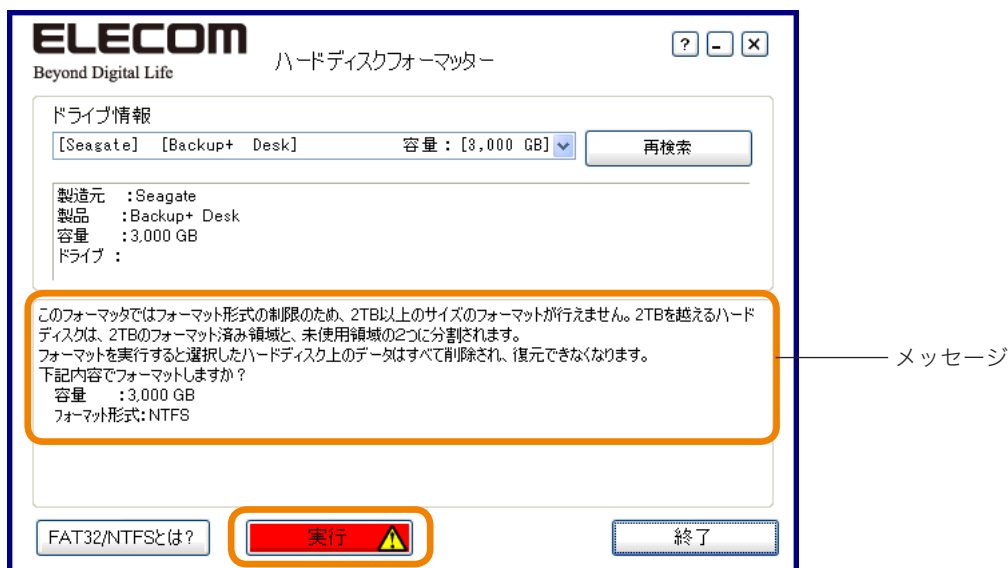
4 [フォーマット]をクリックします。



5 [NTFS]を選び、[実行]をクリックします。

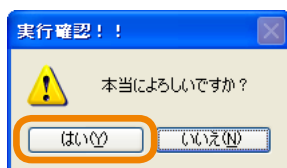


6 以下のようなメッセージが表示されますが、そのまま[実行]をクリックします。



- このフォーマッターの仕様により、いったん2TBでフォーマットします。

7 [はい]をクリックします。



MEMO

HDDの容量やご使用の環境によっては、フォーマットに数時間かかる場合があります。

8 [終了]をクリックします。

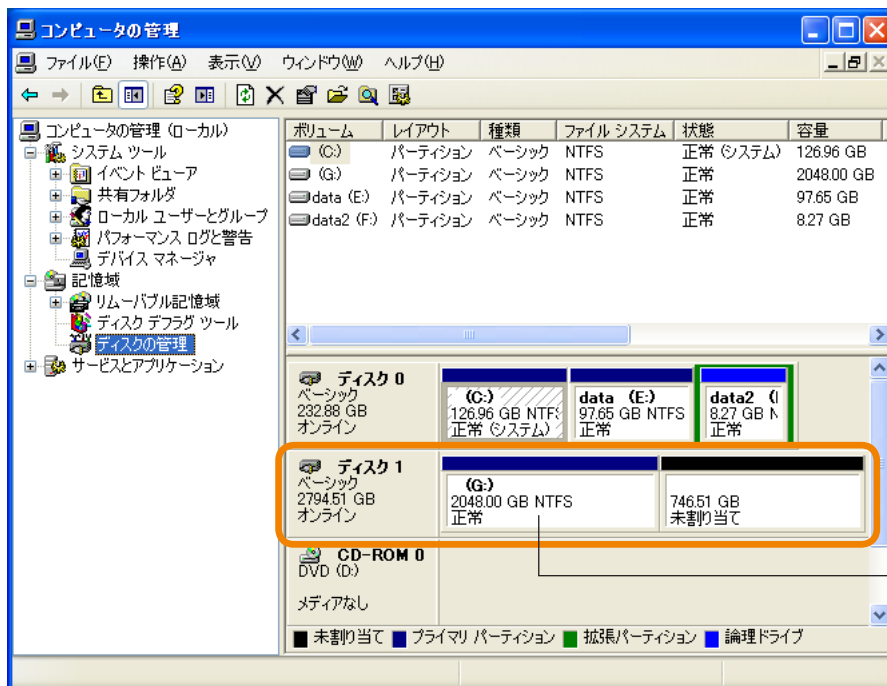


STEP4-3 再フォーマットする

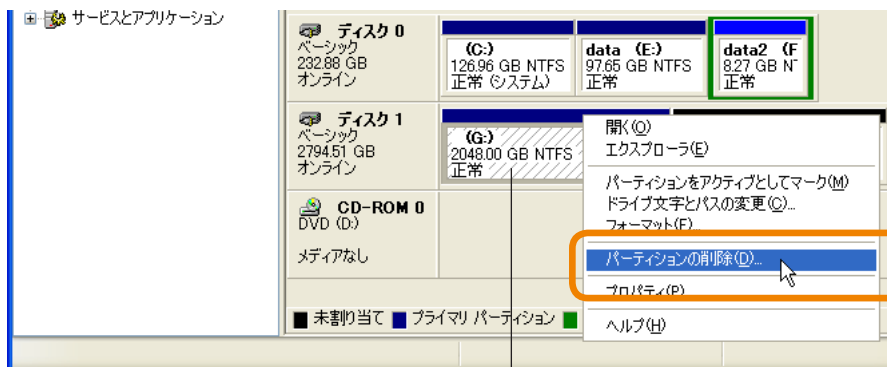
1 コントロールパネルの[ディスクの管理]画面を表示します。

- ① [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[管理ツール]アイコンをクリックします。
 - コントロールパネルがクラシック表示の場合は、一覧から[管理ツール]をダブルクリックします。
 - ② [コンピュータの管理]をダブルクリックします。
 - ③ 画面左のツリーから[ディスクの管理]をクリックします。
- ※詳しい手順は、P4を参照してください。

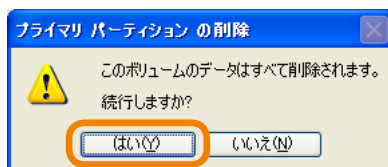
2 対象となるドライブを確認します。



3 2TB (2048.00GB) の領域にカーソルを移動し、右クリックします。メニューから[パーティションの削除]を選びます。



4 [はい]をクリックします。



- パーティションが削除され、全容量が「未割り当て」になります。

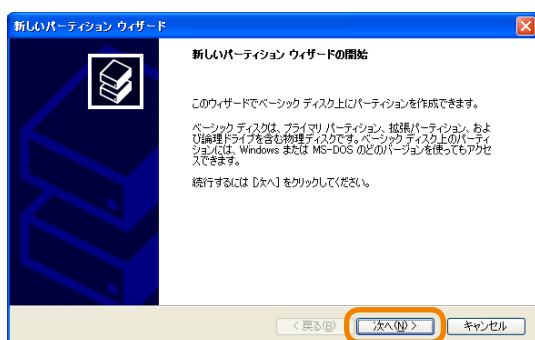
- 5 未割り当ての領域にカーソルを移動し、右クリックします。メニューから[新しいパーティション]を選びます。



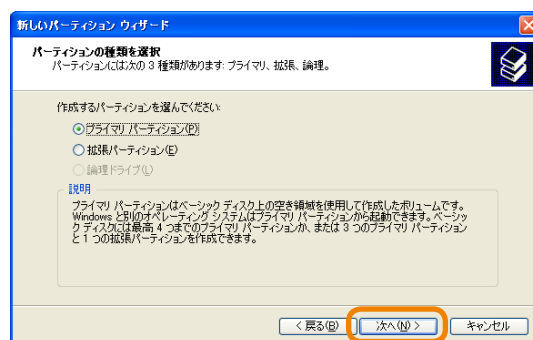
HDD (ディスク)全体が未割り当てになります

- 6 ウィザードを使って、以下の流れで2TB 超えのパーティションを作成します。

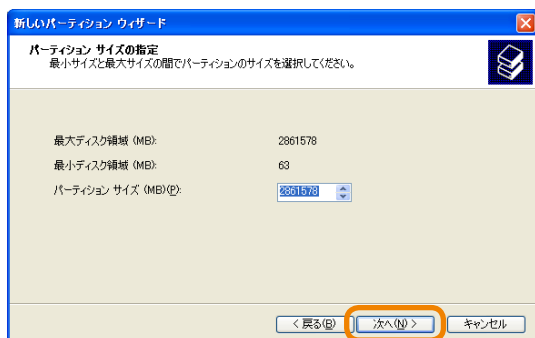
- ① [次へ] をクリックします。



- ② 通常は[プライマリ パーティション]を選びます。

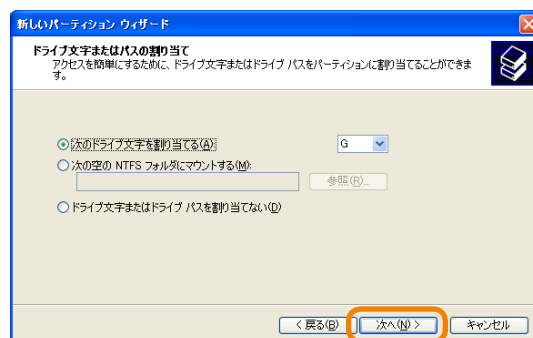


- ③ パーティションのサイズを指定し、[次へ] をクリックします。



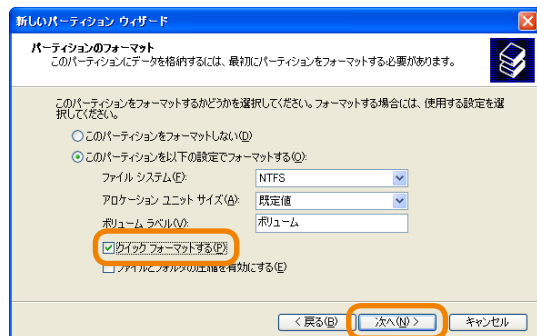
- ここでは最大容量としますので、そのまま [次へ] をクリックします。

- ④ ドライブ名を割り当て、[次へ] をクリックします。

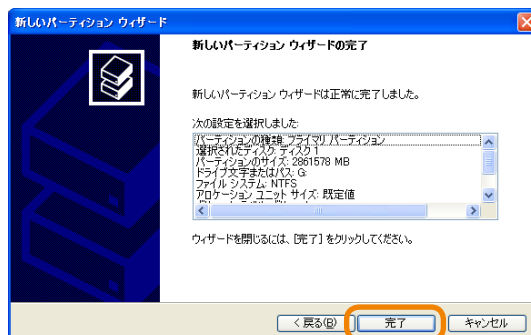


- 特に希望のドライブ名がない場合は、そのまま [次へ] をクリックします。

- ⑤ 「クイック フォーマットする」をチェックし、[次へ]をクリックします。

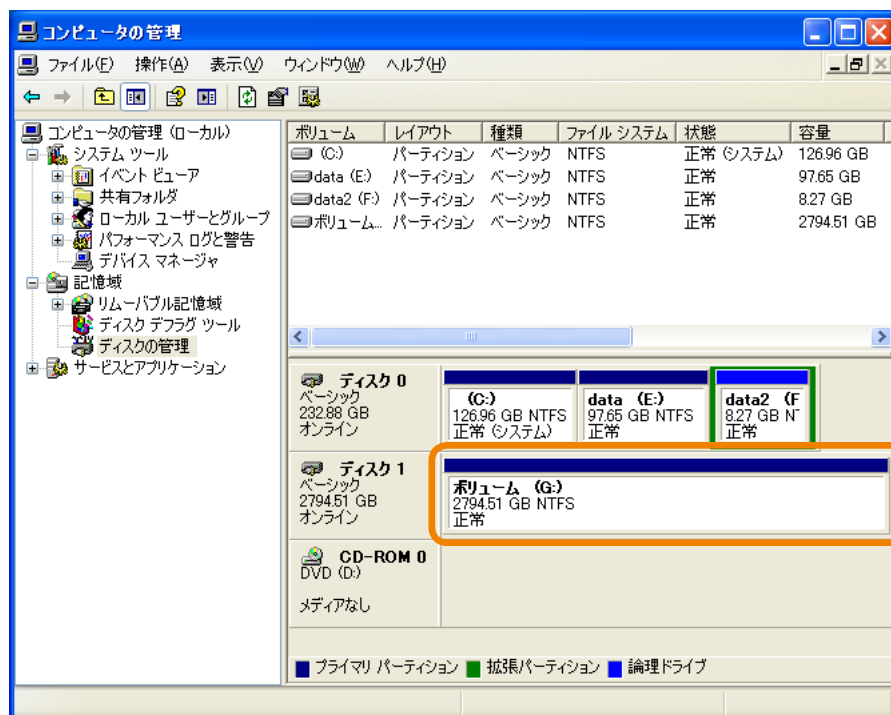


- ④ ドライブ名を割り当て、[次へ]をクリックします。



- フォーマットを開始します。

- 7 2TB以上の領域が1つのドライブとして割り当てられていることを確認します。



2TB以上でも1ドライブ
(1 ボリューム)として認識
されるようになります

- 8 これですべての作業は終了です。

本ドライバをアンインストールすると、Windows XPパソコンで、2TB以上の容量が1ドライブ(1ボリューム)のHDDは、ドライブを認識できなくなります。

1 HDD内のデータをバックアップします。



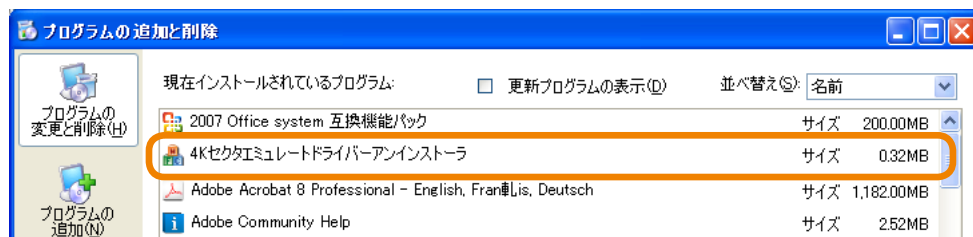
ドライバをアンインストールすると、HDD内にあるデータを読み出すことができなくなります。アンインストールの前に、必要なデータはバックアップしてください。

2 [スタート]→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]をクリックします。

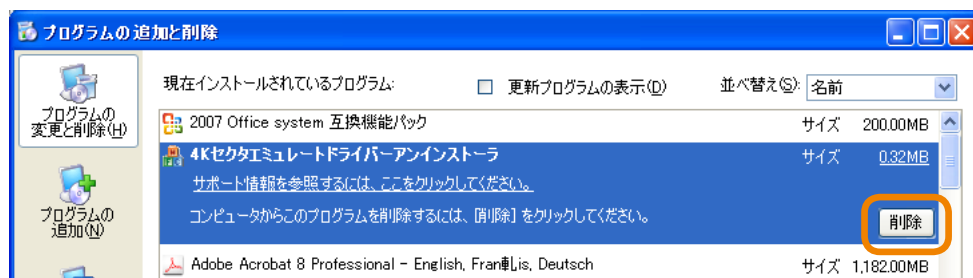


- コントロールパネルがクラシック表示の場合は、[プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。

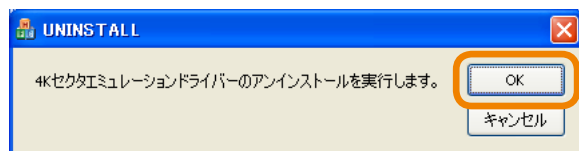
3 「4Kセクタエミュレートドライバアンインストーラ」をクリックします。



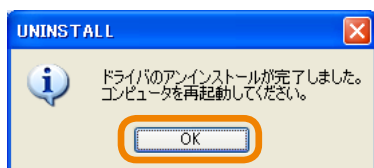
4 [削除]をクリックします。



5 [OK]をクリックします。



6 [OK]をクリックします。



7 パソコンを再起動すると、アンインストールは完了です。

Tips-2

2TB以上の容量を持つHDDをWindows XPパソコンに複数接続する場合は、以下の点にご注意ください。

- 複数のHDDを2TB以上の容量で1ドライブ(1ボリューム)にしたい場合は、すべてのHDDを接続した状態で、ドライバをインストールしてください。
- 本ドライバを必要としない(または使用したくない)2TB以上の容量を持つHDDも接続したい場合は、本ドライバを使用するHDDのみをWindows XPパソコンに接続した状態で、ドライバをインストールし、インストール後に本ドライバを使用しないHDDを接続してください。